



伊藤一男教授 近影

伊藤一男 教授 略歴

昭和三十一年一〇月二八日 山梨県北都留郡上野原町（現上野原市）に

誕生

昭和五〇年四月 東京学芸大学教育学部初等教員養成課程

（国語専攻）入学

昭和五四年三月 同大学卒業

昭和五四年四月 東京学芸大学大学院教育学研究科修士課程

（国語専攻）入学

昭和五六年三月 同課程修了

東京都立小川高等学校教諭

昭和六〇年四月 東京学芸大学文部教官（助手）

北海道教育大学助教授

平成 五年四月 同校教授

平成一七年六月 北海道教育大学旭川校カリキュラム委員長

（平成二二年三月まで）

平成一九年八月 北海道教育大学評議員

（平成二二年三月まで）

平成二五年四月 同（平成二七年三月まで）

同（平成二八年三月まで）

平成二七年一〇月 北海道教育大学附属旭川小学校校長

（平成三〇年三月まで）

令和 四年三月 同校定年退職

令和 四年四月 北海道教育大学名誉教授

主要業績

【著書（共著）】

- 『古典文学基礎知識必携』（學燈社、平成三年）
 - 『平安時代の儀礼と歳時』（至文堂、平成三年）
 - 『源氏物語講座第三卷 光る君の物語』（勉誠社、平成四年）
 - 『西本願寺本万葉集（普及版） 卷第一』（おうふう、平成五年）
 - 『同巻第十一』（おうふう、平成七年）
 - 『同巻第十五』（おうふう、平成七年）
 - 『源氏物語図典』（小学館、平成九年）
 - 『日本歌学大系 別巻一〇』（風間書房、平成九年）
 - 『源氏物語の鑑賞と基礎知識 御法・幻』（至文堂、平成十三年）
 - 『中世王朝物語・御伽草子事典』（勉誠出版、平成一四年）
 - 『源氏物語を読むための基礎百科』（学燈社、平成一五年）
 - 『源氏物語の鑑賞と基礎知識 宿木（後半）』（至文堂、平成一七年）
 - 『講座源氏物語研究第四卷 鎌倉・室町時代の源氏物語』（おうふう、平成一四年）
 - 『王朝文学文化歴史大事典』（笠間書院、平成三年）
- ### 【論文等】
- 『古今和歌六帖標注』翻刻（一）（二一）
 - （一）（旭川国文）一三三号、平成九年・（二）（『語学文学』三三六号、平成一〇年）
 - （三）（北海道教育大学紀要（人文科学・社会科学編）四九卷一、平成一〇年）
 - （四）（同『紀要』五〇卷二、平成一一年・（五）（同『紀要』五一卷一、平成一二年）
 - （六）（同『紀要』五一卷二、平成一三年・（七）（同『紀要』五二卷一、平成一三年）
 - （八）（同『紀要』五二卷三、平成一四年・（九）（同『紀要』五三卷一、平成一四年）
 - （一〇）（同『紀要』五三卷二、平成一五年・（一一）（同『紀要』五四卷一、平成一六年）

- （一二）（同『紀要』五四卷二、平成一六年）・（一三）（同『紀要』五五卷一、平成一六年）
- （一四）（同『紀要』五五卷二、平成一七年）・（一五）（同『紀要』五六卷一、平成一七年）
- （一六）（同『紀要』五六卷二、平成一八年）・（一七）（同『紀要』五七卷一、平成一八年）
- （一八）（同『紀要』五七卷三、平成一九年）・（一九）（同『紀要』五八卷一、平成一九年）
- （二〇）（同『紀要』五八卷二、平成二〇年）・（二一）（同『紀要』五九卷一、平成二〇年）
- 『物名和歌私抄』翻刻（『東京学芸大学紀要第二部門』四〇号、平成元年）
- 律令・格式に見える年令―物語文学読解のために（『東京学芸大学紀要第二部門』四二号、平成二年）

- 源氏物語の年齢記述（『学芸国語国文学』二三号、平成三年）
- 歌の個性―浮舟詠をめぐって―（『むらさき』二七号、平成二年）
- 末摘花の唐衣詠―光源氏の評言をめぐって―（『語学文学』三三三号、平成六年）
- 大和物語の言語感覚（『実践女子大学文学資料研究所電子叢書』、平成一二年）
- 近江の君論―呪性の退行―（『国文学研究資料館紀要』二五号、平成一二年）
- 八月にぞ六条院造りはてて―六条院というテクスト（『国文学』四五九号、平成一二年）

- みちのくの安達の原の黒塚に―（『大和物語研究』二号、平成一二年）
- 右近をめぐる歌語り―『大和物語』の世界―（『学芸国語国文学』三三三号、平成一二年）
- 笑いの『大和物語』（『語学文学』三三九号、平成一三年）
- 在次滋春の物語（『語学文学』四二号、平成一六年）
- 雛の雅―『大和物語』第百五十七段―（『旭川国文』二〇号、平成一八年）
- 万葉集に見える縁語的用语（『語学文学』四八号、平成一三年）
- 万葉集の表記における選字意識（『語学文学』五〇号、平成一四年）
- 源氏物語評釈の異板―架蔵本二種を巡って―（『語学文学』五五号、平成一八年）